

和紙をガラス（アクリル板）に貼る施工方法

改訂日	2015年8月4日
書類番号	E002JP-15
ページ番号	1/1

施工時 / 施工後の注意点

- 接着性や透過性の確認のために、弊社提供サンプルにて十分に問題がないかの確認を行ってください。
- ガラスに挟み込む場合、カビなどの発生を防ぐために、和紙を挟み込んだ後、ガラスとガラスの隙間をシリコンなどで密封して外気（湿気）が入らないようにしてください。
- 接着剤を使う場合は、十分乾燥させるようにしてください。
- 高温多湿な環境では、カビが発生しやすいので、十分にお気を付けてください。
- 安全面に加えガラスの表面に汚れが付かないように、綺麗な手袋等をして作業してください。

施工方法 1) ガラスで挟み込む方法

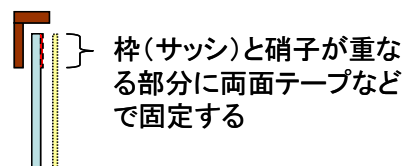
1. 挟み込むガラスの片面に和紙を固定します。固定方法は以下の2通りあります。

1-1. ガラスを枠（サッシ）などで固定する場合枠とガラスが重なる部分に両面テープで和紙を固定します。※図.1 参照

1-2. ガラスの固定に枠（サッシ）を使用しない場合は、和紙を紙テープなどで直接ガラスに仮止めし、和紙（裏）の上端 5mm 程度の所に接着剤（乾くと透明になるもの）を付けてガラスに接着し、乾かします。

2. 上記の方法で和紙の固定を確認した後、もう一枚のガラスで和紙を挟みます。光の透過が良く、和紙の保護にもなります。
※スパイダーペーパーの場合は、こちらをお勧め致します。

図. 1



- 枠(サッシ)
- 硝子
- 和紙

施工方法 2) ガラスの片面に貼る方法

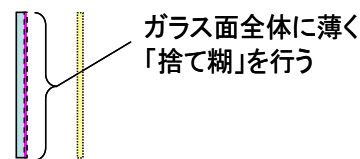
1. 先ず和紙を貼るガラス面全体に化学糊“プラゾール SS”を薄く塗り、完全に乾燥させます。※図.2 参照

2. でんぷん糊“ルーアマイルド”70%に対して、30%の“プラゾール SS”を混ぜたものを和紙に塗り、先に“プラゾール SS”を塗ったガラスの片面に貼ります。わずかに光の透過性が落ちます。

（光の透過性が気になる場合は、多少接着力が弱くなりますが“プラゾール SS”をガラス面に塗らずに貼ることもできます）

※但し、ファイバーペーパーなどデザイン上、開口部が多い製品につきましては、捨て糊をしたガラス面に改めて糊を塗布し和紙を貼った方が良い場合もありますので、予めサンプルなどで試すことをお勧めします。

図. 2



- 硝子
- 捨て糊
- 和紙

補足：和紙の種類やご利用場所の環境などによって施工方法が異なりますので必ずしも上記内容の施工方法だけではありません。アクリル板を使用する場合も、上記内容の方法で施工出来ます。

上記内容で、ご不明点、疑問点ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

ながはる株式会社 〒161-0031 東京都新宿区西落合 1-30-22 Tel 03-5996-1751 Fax 03-5996-2340

E-mail: nsp@nagaharu.com URL: <http://www.nagaharu.com/>